

学校経営計画に沿って、全教育活動に取り組みます。  
 学校評価 総括評価表の下位組織レベルの重点目標は、学校重点目標の実現に向け、当該年度に、特に重点的に取り組む目標です。

## 令和2年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
<b>【学校目標】</b> 2) 教育課程に基づいた指導と評価の一体化  <b>【下位組織レベル】</b> ① 重複障がいのある児童の各教科の学期目標について、学習指導要領等を活用し、適切に設定し評価する。	評価指標 ①-1 5段階評価のアンケートで、学習指導要領や指導内容表を「活用することができた」「やや活用できた」と教員の80%以上が回答する。	評価指標の達成度		(評定)  (所見)	
	①-2 5段階評価のアンケートで「児童の学期目標の設定時に、教科の目標を『明確にすることができた』、『やや明確にすることができた』と、教員の80%以上が回答する。				
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①-1 各学級において、学習指導要領や指導内容表を活用して、年間指導計画を作成する。 ①-2 作成した年間指導計画を基に、各児童において、学習指導要領や指導内容表を活用して、教科の内容を明確にした目標を立てる。 ①-3 各児童において、教科に関する個別の指導計画の目標設定や評価についての、ケース会を年間5回以上行う。				

# 令和2年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評 価		学校関係者の意見	
中 学 部	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
	<b>【学校目標】</b> 2) 教育課程に基づいた指導と評価の一体化  <b>【下位組織レベル】</b> ① 個別の指導計画に基づき、個々の生徒の目標を明確にした指導を実践する。	① 個別の指導計画において、生徒の学期目標の70%以上が「目標に十分達した」「目標に達した」という評価になる。	(評定)	(所見)	
			活動計画		
	①-1 各生徒について、1学期に2回、2学期に2回のケース会を設け、生徒の実態、指導方法について、情報交換や検討を行う。 ----- ①-2 複数で担当する授業について、担当教員全員が生徒の目標を確認し、指導ができるように、生徒の学期目標の一覧表作成し、活用する。 ----- ①-3 学部会で、毎回、生徒の状況報告を行い、教員間で共通理解を図る。 ----- ①-4 学級での授業実践やコンサルテーションの報告を中心に、各学級担当教員が輪番で、学部会を利用して15分程度のミニ研修会を設け、共通理解や専門性の向上を図る。				

# 令和2年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
高 等 部	<b>【学校目標】</b> 1) 教職員の専門性の向上とチームとしての学校作り  <b>【下位組織レベル】</b> ① 卒業までに必要となる各種の手続や施設毎のニーズを知ることにより、進路指導の充実を図る。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
		① 学部内アンケートにおいて「今後の進路指導に役立てることができた」と回答した教員が80%以上となる。		(評定)	
		活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①-1 「福祉のしおり」等を参考に制度的なものや進路決定までの流れをまとめた資料を作成する。				
	①-2 「福祉サービスの利用申請」についての説明用スライドを作成し部会で研修する。				
	①-3 人権進路課と協力し、卒業生の現在の様子や、「就労継続支援 B 型」「共同生活援助」を利用する際に必要となるニーズを聞き周知を図る。				
<b>【学校目標】</b> 2) 教職員の専門性の向上とチームとしての学校作り  <b>【下位組織レベル】</b> ① 授業実践力向上のために ICT 機器の活用方法を知る。	評価指標	評価指標の達成度			
	① 学部内アンケートにおいて「授業実践力向上のための ICT 機器の活用方法を知ることができた」等と回答した教員が80%以上となる。				
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①-1 ICT 機器等を活用した授業の実践例や ICT 機器をツールとして、生徒のモチベーションや生徒の理解を深めるためのアイデア等についてアンケートを実施する。				
	①-2 アンケート結果を基に、高等部内で話し合い、各学習グループにおいて1回以上の授業実践を行う。(7月～2月)				
	①-3 進路指導の一環として、テレワークによる就業体験を実施し在宅就労で必要なコミュニケーション能力についての理解を深める。				

# 令和2年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価				学 校 関 係 者 評 価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評 価		学 校 関 係 者 の 意 見	
総 務 課	<b>【学校目標】</b> 1) 安心安全な学校づくり  <b>【下位組織レベル】</b> ① 保護者ととともに安全な避難体制の整備を行う	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
	①-1 参観日に来校した保護者の70%以上が訓練に参加する。	①-2 防災カード書式変更後アンケートを実施し70%以上の方がよくなったと回答する。		(評定)	
	①-2 防災カード書式変更後アンケートを実施し70%以上の方がよくなったと回答する。			(所見)	
	活動計画	活動計画の実施状況			
①-1 保護者と協力し、緊急時の対応としての通学生の引き渡し訓練を参観日に実施し、確実に保護者に引き渡しを行う。	①-2 車いすで移動できない時に備えての持ちあげ訓練のために、車いすのどの部分をもてば安全かの位置を示すマーキングを保護者等と相談し行う。				
①-3 防災カバンの中に入れる医療的ケア等について記入した防災カードの書式についての再検討を行う。					

# 令和2年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評 価		学校関係者の意見	
	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
教 務 課	<b>【学校目標】</b> 2)教育課程に基づいた指導と評価の一体化  <b>【下位組織レベル】</b> ① 新しい教育課程に基づいた授業に取り組み、児童生徒の学習ニーズに応じた指導の推進を図る。	① 学習状況を確認するために、9月と12月(中間評価)のケース会時に年間指導計画を活用する。		(評定)	
		② 教員アンケートで、学習指導要領を活用できたか、年間指導計画を基に児童生徒のニーズに沿った学習がすすめられたかの2項目に、70%以上の教員ができたと回答する。		(所見)	
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①-1 年間指導計画の活用方法について、課内で検討する。				
	①-2 年間指導計画のチェック方法を紙面で示し、教員に周知する。				
	①-3 ケース会の前に、年間指導計画を使って授業の進捗状況や学習内容の見直し等についても確認することを働きかける。				
	②-1 12月にアンケートを作成し、全教員に実施する。				
	②-2 アンケートをもとに、教育課程検討委員会や学部会で課題を明らかにし、次年度に向けて検討する。				

# 令和2年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
研 究 課	<b>【学校目標】</b> 2) 教育課程に基づいた指導と評価の一体化  <b>【下位組織レベル】</b> ① 自立活動実践シートの作成に関する成果を上げるために、全校研究グループ会の運営を推進する。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
	① 「自立活動実践シート作成時のグループ会にて、話し合うべき内容を踏まえたグループの意見をまとめることができた・ほぼできた」と自己評価及び他者評価のそれぞれにおいて70%以上の回答を得る。 *自己評価 (グループ内教員による評価) 他者評価 (全グループリーダーによる評価)			(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況		(所見)	
	①-1 話合いのルールと事前準備チェックリストを作り、グループ会で活用を促す。 ----- ①-2 時間配分や話し合う項目別にゴールを示した進行表を作成し、事前のグループリーダー会にて共通理解を図る。				
研 究 課	<b>【学校目標】</b> 4) 教職員の専門性の向上とチームとしての学校づくり  <b>【下位組織レベル】</b> ① 社会人講師による指導・助言を全教員で共有できるように推進する。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
	① 活動計画①-1, 2に関して「自立活動に関する社会人講師の助言を教員間で情報共有することができた」と、90%以上の教員が回答する。			(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況		(所見)	
	①-1 授業者は社会人講師による指導・助言を共有すべき教員に、口頭又は紙面で伝える。 ----- ①-2 社会人講師による指導・助言を全教員に、校内LAN(職朝掲示板)にて30回以上伝える。 ----- ①-3 社会人講師による指導・助言を校内LAN(フォルダ)にわかりやすくまとめ、全教員が常に確認できるようにする。				

# 令和2年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価				学 校 関 係 者 評 価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評 価		学 校 関 係 者 の 意 見	
人 権 進 路 課	【学校目標】	評価指標	評価指標の達成度	総 合 評 価	
	3) 家庭や地域と連携協働した教育の推進  【下位組織レベル】  ① 人権・進路について、教職員や保護者への広報の方法等を再構築し、本校の人権指導と進路指導の充実を図る。	①-1 年度末のアンケートで、人権進路通信「花みずき」や本校ホームページの「人権・進路」を、50%の保護者と90%の教職員が「見た」「知っている」、70%の教員が「良かった」「やや良かった」と回答する。 ----- ①-2 施設・事業所説明会に参加した保護者・教員の80%が「参考になった」「やや参考になった」と事後アンケートに回答する。		(評定)	
		活動計画	活動計画の実施状況	活動計画	
	①-1 本校ホームページの「人権教育」を「人権・進路」とし、人権・進路・生徒指導等に関する活動内容を、月に1回、更新する。 ----- ①-2 保護者や関係機関と連携し、人権進路通信「花みずき」を学期に1回発行する。 ----- ①-3 関係機関との連携を深め、新しい生活様式に適した方法での研修を企画運営し、児童生徒・保護者・教職員への人権・進路・生徒指導等に関する研修を充実させる。				

# 令和2年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価				学 校 関 係 者 評 価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評 価		学 校 関 係 者 の 意 見	
特 別 活 動 課	<b>【学校目標】</b> 1) 安心・安全な学校づくり  <b>【下位組織レベル】</b> ① 児童生徒，保護者が安心して行事に参加できるような方策を考え，実施する。	評価指標	評価指標の達成度	総 合 評 価	
		① 実施後のアンケートにおいて，安全に配慮し安心して参加することができたという回答が保護者，教職員ともに70%に達する。		(評定)	
		活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
		①-1 文科省のガイドラインの内容を踏まえ，特別活動課員で原案を作成する。 ①-2 原案をもとに各学部で意見を挙げよう。 ①-3 意見を集約し全職員へ提案，実施をする。 ①-4 実施後に保護者，教職員へのアンケートを実施し，次年度へ活かす。			
特 別 活 動 課	<b>【学校目標】</b> 3) 家庭や地域と連携協働した教育の推進  <b>【下位組織レベル】</b> ① 特別活動課よりホームページを年間6回更新する。  ② 「ひのみねからの発信」で児童生徒の作品を展示し，家庭や地域に広報する。	評価指標	評価指標の達成度	総 合 評 価	
		① 各学部で年間2回以上ホームページを更新する。		(評定)	
		② やまなみ珈琲店での「ひのみねからの発信」を実施し，来客へのアンケートにおいて「よかった」という割合が70%に達する。		(所見)	
		活動計画	活動計画の実施状況		
		①-1 各学部で実施される特別活動において，写真等の活動記録を撮る。 ①-2 すみやかに活動記録をホームページへアップする。  ②-1 日頃の学習活動において制作した児童生徒の作品をやまなみ珈琲店で展示をする。  ②-2 旧職員等へ案内状や保護者宛文書において周知し，児童生徒の作品を通して学校での学習活動について広く知ってもらう。			

# 令和2年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策	
重点目標	評価指と活動計画	評価		学校関係者の意見		
支 援 課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価			
	<p>【学校目標】</p> <p>家庭や地域と連携協働した教育の推進</p> <p>【下位組織レベル】</p> <p>① 関係機関と連携をとりながら，肢体不自由に関する専門的な支援を行い，肢体不自由教育の理解啓発を図る。</p>	<p>① 南部地域の肢体不自由担任者研修会参加予定者の学校や過去に相談があった肢体不自由児が在籍する学校等の児童の様子や学校の困り感について 80 %以上聞き取ることができる。</p>		(評定)		(所見)
	活動計画	活動計画の実施状況				
	<p>①-1 地域の関係諸機関に年度当初のあいさつ回りやチラシの配布を行う。</p> <p>-----</p> <p>①-2 南部地域の肢体不自由担任者研修会参加予定者の学校や過去に相談があった肢体不自由児が在籍する学校等のコーディネーターに1学期中に電話連絡を取る。</p> <p>-----</p> <p>①-3 児童生徒の様子や学校の困り感等について聞き取り，電話相談，来校相談，出張相談，メール相談などの教育相談事業の啓発を行う。</p> <p>-----</p> <p>①-4 学校等の要望に応じて，巡回相談を実施する。</p>					

# 令和2年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
保 健 環 境 課	<b>【学校目標】</b> 1) 安心・安全な学校づくり  <b>【下位組織レベル】</b> ① 感染症防止や緊急対応の視点から児童生徒が安心・安全に過ごせる環境を整える。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
	① 感染症の予防のため、情報発信を月2回以上行い、感染経路の遮断に努める。			(評定)	
	② 緊急対応訓練を年間2回実施する。			(所見)	
		活動計画	活動計画の実施状況		
	①-1 健康観察表を配付して体調管理を呼びかけ、月末に回収する。				
	①-2 感染症対策の広報を月2回行う。				
	②-1 給食時における緊急対応訓練を提案し、1.2学期に実施する。				
②-2 飲食時の配慮事項について、全学部の児童生徒の情報を共有できるツールを作成し、推進を図る。					
課	<b>【学校目標】</b> 3) 家庭や地域と連携協働した教育の推進  <b>【下位組織レベル】</b> ① ユネスコスクールの理念に則り、環境教育の取り組みを推進する。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
	① 児童生徒が年間2回以上環境保全に関する活動に参加する。			(評定)	
				(所見)	
		活動計画	活動計画の実施状況		
	①-1 「ゴミ0の日」運動を推進し、学部ごとに清掃活動を実施する。				
	①-2 エシカルに関するポスターデザインを校内募集し、興味関心を図る。				
	①-3 リサイクル資材を活用した作品づくりの提案や制作を推進する。				
①-4 回収箱を設置して呼びかけ、リサイクル資源の回収を行う。					
①-5 動画やポスターを作成し、エシカル活動の広報を行う。					

# 令和2年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策	
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見		
情 報 課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価			
	<b>【学校目標】</b> 3) 家庭や地域と連携協働した教育の推進  <b>【下位組織レベル】</b> ① ICT 機器を活用した学習活動の支援を行う。	①-1 通学生において、リモート学習への参加率が80%を超える。 ----- ①-2 リモートや動画配信サイトで実践した学習活動において、保護者のアンケートで、「よかった」「概ねよかった」の意見が70%を超える。				(評定)
	活動計画	活動計画の実施状況				(所見)
	①-1 TV 会議の研修を教員に対して2回以上実施する。 ----- ①-2 リモート学習及び動画配信サイトへの接続方法等の説明書を作成し保護者へ配布する。 ----- ①-3 連絡メールを活用し保護者にリモート学習への参加を促すとともに、動画配信サイトの活用について周知を行う。					